

2006年5月8日

Press Information

日本からは初進出！

**ボルボ・アドベンチャー国際最終選考会に臨む子ども達が
田中康夫 長野県知事を表敬訪問**

ボルボ・カーズとABボルボは国連環境計画（UNEP）とのパートナーシップのもと、世界中の子ども達を対象とした環境プロジェクトのコンテスト『ボルボ・アドベンチャー』を開催しておりますが、この度、長野県内の小中高生からなるプロジェクトチームが日本から初めてベスト10チームに選出されました。2006年5月12～17日にスウェーデン・イエテボリにて行われる国際最終選考会への参加に先立ち、4月28日（金）、5名のチームメンバーが田中康夫 長野県知事を表敬訪問いたしました。

田中康夫 長野県知事は、子ども達に対して、環境先進国であるスウェーデンを訪れ、ベスト10チームに選出された日本以外の各国の子供達と交流を図ることは非常に意義深い学習機会であると述べ、国際最終選考会に臨む彼らにエールを送りました。



田中康夫 長野県知事を表敬訪問するチームメンバー

ボルボ・アドベンチャーについて

ボルボ・アドベンチャーとは、世界中の10～16歳の子ども達を対象にした環境プロジェクトのコンテストです。インターネット上で登録を行ない、英語で書いたエントリーを送るだけで参加できます。ボルボの故郷であるスウェーデン・イエテボリで行われる国際最終選考会には、優秀なプロジェクトを実施した10チームが招待されます。この中からさらに優秀な3チームが選出され、賞金が授与されます。またアイデアと行動計画はすべて公開され、国連環境計画（UNEP）に提出されます。

同コンテストは、ボルボのコアバリューのひとつである「環境」をより多くの人とともに考える機会を提供すること、次世代を担う子ども達に環境についての認識を高めてもらうこと、子ども達自らの手で周囲の環境をより良く変えていくという体験してもらうことの3つを目的に、国連環境計画（UNEP）とのパートナーシップの下で2002年から開催しています。

5回目を迎える今回は、42カ国320チームからのエントリーがあり、日本、ブラジル、カナダ、ドイツ、ギリシャ、インド、メキシコ、トルコ、イギリス、ウガンダのチームが国際最終選考会に進出しました。国際最終選考会の審査員は、セオドーレ・オーベン 国連環境計画(UNEP)児童・スポーツ・環境部部長ほか、シブ・パーション世界自然保護基金（WWF）らがつとめます。国際最終選考会は5月12～17日、ボルボの故郷であり、環境教育の先進国であるスウェーデン・イエテボリにて行われます。

日本チームのプロジェクトについて

<プロジェクト> 長野の自然を守るための情報提供について学ぶ
<チーム名> ディスカバー・ネーチャー (Discover Nature)

<プロジェクトの概要>

様々な角度から長野の自然の現状を知ること、自然を守るために人々に情報を提供すること、そしてより多くの人に環境について考えてもらう機会を増やすことの3つをプロジェクトのテーマとして活動。身近な自然の実態調査、植樹活動、さらに各種環境会議、イベントなどでの活動成果の報告を実施。代表的な活動は以下の通り。

- ・ 50本ほどスギの苗木を植樹
- ・ フィンランドの学校が提案した世界平和の日の植樹の輪に参加
- ・ ホタルの生態と人工光との関連を調査
- ・ 魚、カエルの生息数調査を通じた身近な自然環境の実態把握
- ・ 千曲川の水生生物の調査と水質の分析
- ・ 全国こども環境会議、長野市子供環境会議などでの情報発信活動
- ・ 長野市子供環境会議にて自ら作成した環境宣言を締結
- ・ 3年間にわたるごみ拾い活動

この件に関するお問い合わせ先

ボルボ・カーズ・ジャパン 広報室 よつもと 四本、平井、小澤 ☎ 03-5404-8611（広報室代表）